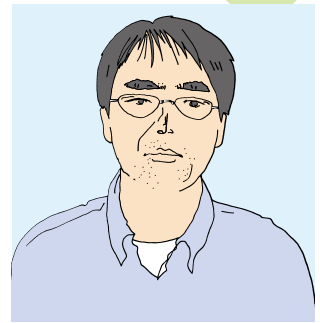


農作業事故をなくすためのポイント



西部農業事務所
普及指導課
農畜産指導係 **加部 武**

群馬県の農業機械による死亡事故は、乗用トラクターが50%と最多で半数を占めます。次いで歩行トラクター18%、農用運搬車とコンバインが8%と続きます。

事故原因は機械の転落・転倒が58%と最多で巻き込まれが15%、挟まれ13%、追突・衝突8%であり、作業別では、移動時が47%、農作業時38%、ほ場出入り時と点検清掃時が各6%と移動時の事故が多い傾向にあります。

◆取扱説明書を必ず読む、取扱説明書をなくさない

農業機械は年々新しくなっています。取扱説明書等をよく読んで機械の特性を知り、正しい技術に身につけましょう。

取扱説明書は、保管場所を決め、いつでも取り出して読めるようにしましょう。

◆常に周囲の安全確認

エンジン始動、発進、後進、旋回、クラッチ操作などを行う場合は、常に周囲の子供や補助者の安全を確認し、ホーンなどで合図しましょう。

◆作業にあつた服装をしましょう。

◆主要事故の留意点

○トラクターによる転落・転倒の事故防止のため

①移動や道路走行時



時には、必ず左右のブレーキペダルを連結金具で止めてください。さもないと片ブレーキとなり、急旋回・転倒や交通事故を起こす恐れがあります。また、ほ場以外では、前輪倍速装置やデフロック、4輪駆動なども解除します。

②溝、堀、穴の近く、土手などで

路肩の崩れやすい所、あるいは草の茂った所では運転を控えるか、十分に気をつけましょう。対向車を避ける際には、路肩に寄り過ぎないようにしましょう。

③ほ場への出入り、畦畔越えの時は速度を落とし、溝や畦に直角

に走行します。斜めに渡ると転倒する危険があります。

④坂道や傾斜地では急旋回しない。必ず、旋回する前に速度を落とすこと。

○巻き込まれ事故防止のために

点検整備や清掃時には必ずエンジンを止め、油圧昇降装置もロックします。また、PTOや回転部に近寄ったり、作業機の間に入ったりしてはいけません。

○作業機による、はさまれ・つぶされ事故

作業機（ロータリなど）を上げた状態で点検整備、清掃などを行う場合は、必ず油圧ロックと支持台の二重の安全を確保し、作業機が落下しないようにします。

また、不用意に作業機（ロータリなど）の下へもぐったり、手足を入れない。

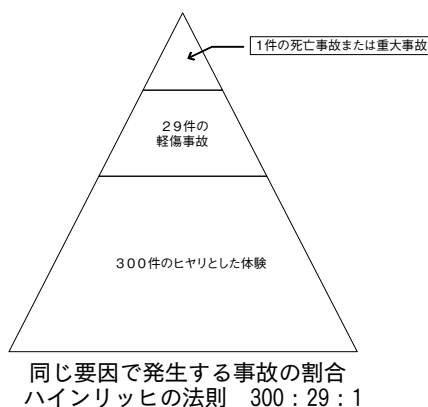
◆トラクターは安全フレーム（2柱式）、安全キャブ（キャビン）が装着されたものを使用しましょう。

乗用トラクターの死亡事故の主な原因は、トラクターを転落・転倒させ下敷きになるといふものです。万が一に身を守る手段として、現時点では安全フレーム・安全キャブの装着が最も有効です。安全フレーム・安全キャブの装

着で、死亡事故割合が1/8以下になったという報告もあります。自分と家族のために是非とも装着しましょう。併せてシートベルトも着用します。

◆事故事例に学ぶ農作業安全対策

農作業の安全とは、死亡事故を対象にしたものではありません。「ハインリッヒの法則」によると、1件の死亡あるいは重傷事故があれば、同じ原因で29件の軽傷事故があり、300件のヒヤリとした体験があると言われています。つまり、1件の死亡事故をなくすことができれば、約330件の「ヒヤリ・ハツとした体験」をなくすことができると考えられます。



（群馬県立農林大学校「農作業事故の実態と防ぎ方」より一部抜粋）